

牛込第一中学校保護者様

<学校評価 自由記入欄のご意見について>

牛込第一中学校

1 学期、2 学期と、学校評価にご意見をお寄せくださりありがとうございました。真摯に受け止め、よりよい学校になるよう教育活動を進めてまいります。

○各教科のワーク、ドリルのようなものの量が多く、負担に感じているようです。

→課題の量については、時期が集中しないようできるだけ配慮するようにしてまいります。

○世間一般に言われていることですが、成績の付け方に明確な基準がないため、目標が定めにくい。評価基準を数値化し、より公平性・透明性を担保すべきだと思います。

→今後も、各教科の評価方法及び基準について、年度当初にシラバスを示したうえで説明会にてお知らせしてまいります。また、各課題については、授業中に授業担当者から評価等について説明するようにしております。ご不明な点等については、授業担当者にご確認ください。

○下校中の男子生徒が大きな奇声をあげつつ左右に揺れながら歩道を歩いている場面に遭遇し、大変驚いた。中国語だった。年配の女性にぶつかりそうになっていた。

→登下校中の振り舞いについて、学校でも指導してまいります。

○ホームページは更新もまめでわかりやすく素晴らしいと思います。また、学校生活をよく知ることができ、頻繁に見させていただいています。これからもお願いします。

→今後も引き続き行ってまいります。

○一中祭の合唱ですが、素晴らしい発表になっていると思います。ただ、人数が少ないならでは歌の表現に変えてはどうかと思います。音を楽しむ、リズムを楽しむ、歌詞を伝えるなどの視点に変えて、みんなの知っている曲を自分達で選んだ好きなその年代に残したい曲を選ばせて、ゴスペル風に伴奏なく歌うのも一中の色として楽しめるのではないかと思います。

→各学年・学級の実態に沿って、取り入れられそうな部分は参考とさせていただきます。

○英語の授業がレベル別になるといいと思う。

→現段階では、英語の得意な生徒と不得意な生徒がかかわり合うことをとおして、得意な生徒は「知る」から「わかる」レベルへ、不得意な生徒は「理解する」レベルへ引き上げることを目標に、クラス編成を行っております。今後、生徒の状況に合わせ、習熟度別のクラス編成も検討してまいります。

○テストが独創的過ぎて頑張っても点が取りにくい教科があるとのことです。

→どの教科も考査作成の原則として、授業内で取り扱った内容をもとに出題しております。

誤解を招く表現や出題方法がないよう、今後も気を付けてまいります。